



東日本大震災 7 周年シンポジウム

地域社会に開かれた災害研を目指して

—地域ニーズに基づいた実践的研究の蓄積・展開・社会実装—

主催：東北大学災害科学国際研究所

入場無料
要事前申込

13:00 - 開会挨拶

今村 文彦(災害科学国際研究所 所長)

2018年3月11日(日)
13:00~17:00 (受付12:30~)

会場：東北大学災害科学国際研究所

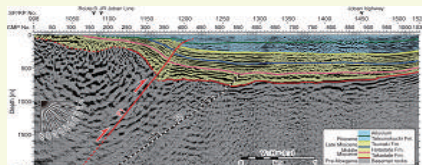
13:10-【第1部】招待講演

「被災地に求められる震災伝承と防災発信、研究の方向性
～災害研との関わりの中から見えてきたこと～」

武田 真一(河北新報社 防災・教育室 室長)



東松島市復興祈念公園の慰霊碑



仙台平野南部における地下構造調査の結果

14:10-【第2部】災害研若手研究者による実践的防災学の最新の成果報告

「内陸直下型の地震を引き起こす活断層とその地下構造

～仙台平野南部において新たに明らかになった伏在活断層～」

岡田 真介(ハザード評価プロジェクトユニット 助教)

「震災伝承の実践的防災学：科学的検証と実践支援」

佐藤 翔輔(被害予測と軽減プロジェクトユニット 准教授)

＜黙 祷＞

「より迅速に、確実に災害時の「健康」と向き合うために

—東北大学病院BCP策定へのステップ—

佐々木 宏之(災害と健康プロジェクトユニット 助教)

「人間中心の住宅復興に必要なこと：日本とアメリカの住宅復興事例から」

マリ エリザベス(減災・復興デザインプロジェクトユニット 助教)

三陸地震津波慰霊祭
(普代村太田名部地区)



東北大学病院防災訓練

【第3部】パネルディスカッション

15:20 - 「震災復興のこれまでと災害研のこれからに期待すること」

コーディネータ 丸谷 浩明(災害科学国際研究所 所長補佐、総合減災プロジェクトエリア長)

パネリスト 三宅 諭(岩手大学 農学部 准教授)

臂 徹(株式会社キャッセン大船渡 取締役)

阿部 紀代子(鰻割烹八幡家 女将)

武田 真一(河北新報社 防災・教育室 室長)

越智 小枝(東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座 講師)



ハリケーン・サンディ後の住宅復興
(ニューヨーク市)



「いのまき元気いちば」のホームページより

16:50 - 閉会挨拶

伊藤 潔(災害科学国際研究所 副研究所長)

総合司会：中鉢 奈津子(災害科学国際研究所 広報室 特任助教)



地下鉄東西線「青葉山駅」南出口から徒歩5分



参加ご希望の方は、電話・メール・FAX・葉書のいずれかで、7周年シンポジウム参加申込・

お名前(ふりがな)・ご所属・ご連絡先電話番号をお書きのうえ、お申込ください。

申込先：〒980-8572 東北大学 災害科学国際研究所 広報室 (月～金 9:30～16:30)

メール：sympo2018@irides.tohoku.ac.jp 電話：022-752-2049 ファックス：022-752-2105

